

## 第 22 回研究者育成セミナー

# Meet the Expert

座長：土屋 恭一郎先生 (山梨大学)

演者：原田 範雄先生 (福井大学)

## インクレチン分泌制御を主眼とした 糖尿病・肥満治療の可能性

glucose-dependent insulintropic polypeptide (GIP) と glucagon-like peptide-1 (GLP-1) は膵β細胞からのインスリン分泌を促進する消化管ホルモンであり、GIP 受容体および GLP-1 受容体をターゲットとした薬剤は既に糖尿病・肥満症治療に応用されています。GIP と GLP-1 は様々な栄養素の摂取時に、インクレチン産生細胞である腸管内分泌 K 細胞および L 細胞から分泌されます。しかしインクレチン産生細胞は腸管上皮細胞と判別が困難であるため、その産生・分泌機構は不明な点が多い現状でした。

我々は K 細胞および L 細胞の可視化マウスを用いて、インクレチン産生細胞の単離・回収に成功し、インクレチン産生細胞の産生・分泌機構を明らかにしてきました。現在は糖尿病・肥満治療におけるインクレチン分泌制御の有用性について研究を進めています。

本講演では、これまで私達が行ってきた研究結果を中心に、インクレチン分泌機構や代謝疾患への治療応用の可能性について述べたいと思います。

2026年5月11日(月)

19:00 - 20:00

web 開催

要事前登録

日本動脈硬化学会員でない方も聴講いただけます。  
是非ご参加ください。

日本動脈硬化学会 HP、または右の QR コードより  
事前登録をお願いします。



[https://www.j-athero.org/jp/meeting/seminar\\_future/](https://www.j-athero.org/jp/meeting/seminar_future/)